

アリーナ建設の賛否は

市民が決める！

岡山市で初めての住民投票を

これは「アリーナ建設 反対」署名ではありません

- ▶ 現在の「新アリーナ建設計画」に賛成の方
- ▶ 「新アリーナ」の建設は必要だが現在の計画には賛同できない方
- ▶ 「新アリーナ」は不必要と思われる方

全ての方が対象です！



あなたの署名が 岡山を動かす

直接請求署名とは？

有権者の50分の1以上の署名を2ヶ月間で集めると、住民投票の実施を市に請求できます。岡山市で初めて市民の声を明らかにできる「住民投票」を実現しましょう！

署名にご協力ください

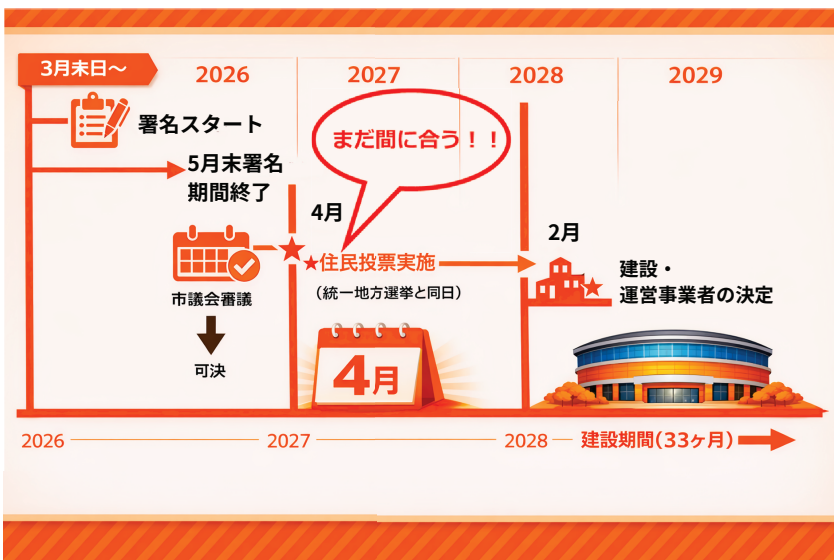
新アリーナ建設についてあなたはどのように考えますか？

「新アリーナ建設計画」の白紙撤回は **今ならまだ間に合います！**

昨年10月に行われた岡山市長選挙で「アリーナ建設 白紙撤回」を訴えた候補者の合計得票数は過半数を超える**56.8%**でした。それでも市は計画を推進しようとしています。

また、アリーナは「岡山市の“公設民営”」予定になっていますが、観客は岡山県内全域から来場して頂かないと運営が成り立たないので、**岡山県の協力が必要不可欠**です。しかし、合意を得られず、今のアリーナ建設計画に**岡山県は参画しません**。

これまで、岡山駅の路面電車乗り入れ事業及び駅前噴水の撤去、市役所建て替え、ハレノワ建設及び岡山市民会館の解体、県庁通り一車線化、北長瀬未来ふれあい公園、路面電車ハレノワ線延伸など、多くの一般市民の声が反映されないまま事業化されており、**全てにおいて「計画の進め方」「順序」「合意形成」「維持管理(予定)」の点に多くの疑問が残ります。**



このままでほんとにいいの？

1. スタジアムと誤解

アリーナをスタジアムと誤解する市民が多く、計画の内容が正しく伝わっていません。アリーナは、**バスケ等のコートが1面しか設置できない**、スポーツ観戦やコンサート等の**室内施設**です。

2. 多額の公費投入

総事業費280億円の約8割の**230億円が国・市合わせた税金**で、50億円を民間寄附で想定しています。寄附集める民間事業者には**集めた額の1割が手数料として市の税金より支払われます**。総事業費も今後さらに膨れ上がる可能性が高いです。

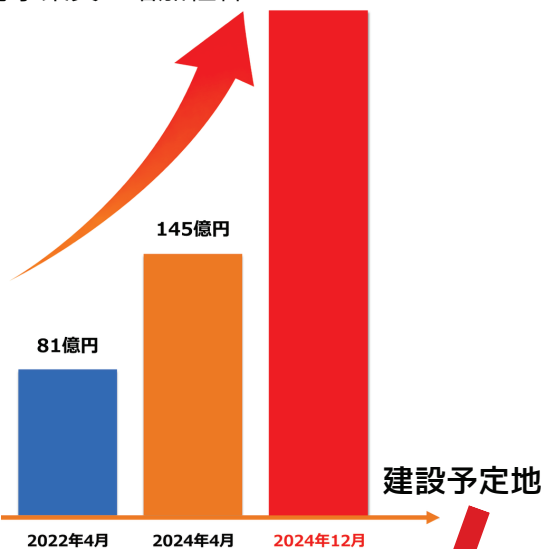
3. 立地は適切か？

建設予定地(北区野田の市営住宅跡地)の建築面積は約9,600㎡。**岡山ドームとほぼ同じで1万人収容**に適している広さとは言えず、最寄りのJR北長瀬駅からは**約1.3kmで専用駐車場はなし**。近隣は住宅地もありイベント開催時の騒音・交通渋滞が強く懸念されます。

4. 市民利用できない

メインアリーナの**使用料は1日180万円**で試算されており、当初は市民のアマチュアスポーツ利用も提案されていましたが、「メインアリーナの市民利用は考えていない」と変更。サブアリーナの市民利用も「検討したい」との答弁にとどまり未定です。

総事業費の増加経緯 280億円



新アリーナ建設の賛否を問う住民投票を実現させる会
公式LINE ID:@395wwthc 「住民投票を実現させる会」

